

「広報やまきたおしらせ版」 に関するアンケート 調査結果

令和7年9月
山北町

調査の概要

1 調査の目的

「広報やまきたおしらせ版」は毎月1日号・16日号と月2回発行し、自治会をとおして全戸配付しています。しかし、配付をお願いしている自治会の負担が大きくなっていること、インターネットやスマートフォンなどの普及により、町でもホームページやLINEなどのSNSによる情報発信体制も整備されはじめていることなどの理由から、「広報やまきたおしらせ版」の発行回数などについて検討するために実施したものです。

2 調査対象

◇ 町民

3 調査期間

◇ 令和7年8月15日(金)～令和7年9月5日(金)

4 回答方法

◇ 回答フォーム(町ホームページ)、窓口へ直接、郵送、メール又はFAX

5 回答件数

◇ 118件(回答フォームでの回答91件、紙媒体での回答27件)

6 集計結果の見方

◇ 結果の百分率の表示については、四捨五入により回答率の合計が100%にならない場合があります。

◇ 記入いただいた意見や回答については、一部内容を編集しているものがあります。

問1 現在の年齢について、当てはまる番号を1つ選択してください。

	回答項目	回答数	割合
1	20歳未満	1	1%
2	20歳代	1	1%
3	30歳代	11	9%
4	40歳代	9	8%
5	50歳代	17	14%
6	60歳代	36	31%
7	70歳代	41	35%
8	80歳以上	2	2%

問2 「広報やまきたおしらせ版」を主にどの媒体でご覧になっていますか。当てはまる番号を1つ選択してください。

	回答項目	回答数	割合
1	自治会から配付または公共施設などに配架されている紙媒体	103	87%
2	町ホームページに掲載されている電子媒体	13	11%
3	「マチイロ」アプリ	0	0%
4	その他	2	2%

【その他にあった回答】

- ・公共施設や配布媒体が目についたら読んでいるが、電子版の方が早く何度も読めるので併用している。
- ・配布されるが、今の時代ペーパーレスなのに、古い。 流石、行政。
- ・基本的には1です。こちらのアンケートにて「マチイロ」アプリを知りました。インストールして山北町を設定して見てみました。個人的にはとても良いと思いました。ただ、基本的に広報は紙で見たいという状況になります。高齢の方が全員「マチイロ」アプリに対応できるか心配はあります。

問3 「広報やまきたおしらせ版」の発行回数とページ数について、当てはまる番号を1つ選択してください。※現在1日号は4ページ、16日号は6ページで作成しています。

	回答項目	回答数	割合
1	発行回数、ページ数ともに現行どおりでよい	48	41%
2	現行の発行回数で、ページ数を減らした方がよい	2	2%
3	発行回数を月1回とした方がよい	46	39%
4	全てホームページやSNS等での情報発信に切り替えた方がよい	15	13%
5	その他	7	6%

【その他にあった回答】

・電子版のみで良い人は切り替えて、配布が必要な人と公共施設に最低数置くと良いのでは。実際には毎回大量に紙媒体は捨てられているため、もったいない。

・基本、回答4。配布の作業負担はもう2度とおいたくありません。回覧も同様です。ただし高齢者など情報弱者への配慮と、他市町村は町の広告として紙媒体をスーパーなどに置いているので、町の広報の戦略と、町民への情報提供、機能別に媒体を検討すべき。

・アンケートの趣旨「自治会の負担が大きくなっている」から、発行回数は、1回でもよいと思いますが、お知らせ板が届いたときに古新聞にならないようにしてほしい。手段は、SNSにした場合、SNSで読めない家庭対応をお願いします。またSNS化により情報が、しっかり周知できないことが懸念されますので対策をお願いします。(SNSだと積極的に読みにいかないと読む機会がないが、紙媒体配布だと受け取った時に読む機会ができる。

・現状、当てはまっていることは1であるものの、方向性は3が良いと思います。ただし、「広報やまきたおしらせ版」が月一回になるとお知らせ版を通して発信したい方々の発信機会が半分になるため悩ましいところだと思います。ふと思ったのですが、16日発行分のみ電子媒体のみにしてみても良いのではないかと思います。総合的に考えて現行通りで良い。になります。

・将来的には、全てホームページやsns等での情報提供でよいが、当面は、面倒ではありますが、希望者のみ月1回配布にし、少しずつ負担軽減していったらどうでしょうか？

・発行回数は月1回で構わない。ページ数は、広報と内容の棲み分けを行った後、削減の方向でも構わない。

・スマホ・パソコン等を持たない方の対応を考えてあるならHPとSNS中心にしても良いと考える。

・4も今後の方向性として検討。但し情報弱者への配慮は必要

・おしらせ版を、広報「やまきた」のおしらせコーナーとしてページ数に組み入れ、一冊の広報誌として発行するようにし、基本「広報やまきたおしらせ版」を廃止する。

問4 「広報やまきたおしらせ版」の掲載内容等について、当てはまる番号を1つ選択してください。

	回答項目	回答数	割合
1	現行どおりでよい	63	53%
2	掲載記事を精査し、削減した方がよい	20	17%
3	掲載記事を簡略化し、ホームページまたはSNSに誘導した方がよい	26	22%
4	レイアウトそのものを見直した方がよい	1	1%
5	その他(無回答含む)	8	7%

【その他にあった回答】

- ・たまに…無料か有料か分からない内容もある。最良のないようにして欲しい。
- ・町民が知るべき情報が多すぎる。例えば、議会だよりや社協、学校、交番。知って欲しいための情報ではなく、それぞれの活動にどう町民が参加するのか、して欲しいのか。他にも情報があふれているこの社会で、情報提供にも効率化は必要なのかなと思います。
- ・近隣市町村の有効な情報や、参加可能なイベント情報なども掲載してほしい。(医療関連情報、文化情報、防災情報など)
- ・移住者の活躍ぶりの取材記事を載せて欲しい。
- ・お知らせ版の位置づけがよくわかっていないので、回答できない。
- ・役場各課の紹介(町民が親しみやすくなる)・新しく出来たお店の紹介など。まずは町民に知って頂くために！！
- ・問3で1回と回答しました。ただし、年間をとおして町民への情報伝達料が平均ではないと思われますので、紙面構成を所定のページ数で割り当てしない方がよい。また、申込等のあるイベント等はホームページ等でお知らせする。
- ・おしらせ版が「連絡」であれば3(申込も出来るように直結する等の工夫も)「啓発」を含む使い方に発展させるのであれば、興味を引くような窓口機能を紙で、より詳細な内容をSNS等でより充実させることもありえる(使い分けのルール)

問5 「広報やまきたおしらせ版」と一緒に自治会に配付をお願いしている全戸配付物と回覧物の配付回数について、当てはまる番号を1つ選択してください。

	回答項目	回答数	割合
1	全戸配付物・回覧物ともに現行どおり(月2回)でよい	36	31%
2	全戸配付物・回覧物ともに月1回とした方がよい	46	39%
3	全戸配付物を月1回とし、回覧物のみ月2回とした方がよい	9	8%
4	全てホームページやSNS等での情報発信に切り替えた方がよい	16	14%
5	その他(無回答含む)	11	9%

【その他にあった回答】

- ・配布、ネットの併用がしばらく必要だが、数年先には全て電子版で良い。
- ・町民が知るべき情報が多すぎる。例えば、議会だよりや社協、学校、交番。知って欲しいための情報ではなく、それぞれの活動にどう町民が参加かするのか、して欲しいのか。他にも情報があふれているこの社会で、情報提供にも効率化は必要なのかなと思います。
- ・配布物が、届いたときに古新聞にならないようにしてほしい。
- ・必要なものもありますが必要のないものも多い気がします。人によって必要なものが違うので、、、。
- ・全戸配付物・回覧物を各戸に届ける手間を無くしてほしい。SNSに変えることで、紙媒体で必要な人には郵送するなど、そちらに税金を使えばよい。
- ・基本的には1です。今後の方向性としては2でもよろしいかと思いますが、やはり情報伝達の時間分解能が半分になることは良くないと思います。地域ごとにイレギュラーで伝達文書を作成すると月に1回が基本となってしまうと不具合が出てくる部分も生じてくると思います。自治会役員(自治会長、組長)の負担が増えてしまいますが、致し方ないかと思います。
- ・全戸配布物は現行通りのまま、回覧物はホームページやSNS等の情報発信で良い。全戸配布物は見落として欲しくない必要な情報、回覧物は見落としたら自分が困る情報と考えるため。
- ・いずれは4とした方が良いですが、当面は、希望者には今まで通りとした、ハイブリッド形式に
- ・町民への連絡すべき内容に洩れがないなら1回でも良いが、却って都度の回覧・配付物が増えないか検討して決定してください。
- ・ホームページ・SNSで高齢者が見れるのか疑問
- ・デジタル情報の提供とする場合は、それに伴い全戸配付物や回覧の見直しが必要と思われる。緊急性、確実性、時系列性や継続性等の観点から見直しが求められる。又情報伝達の効率性の観点からは配布方法についても本件検討の影響要因である。
- ・基本は2の1回／月とし、月内で、急ぎお知らせしなければならない案件が発生した場合は、都度緊急回覧等で自治会へお知らせすればよい。

問6 その他、「広報やまきたおしらせ版」や全戸配付物、回覧物など関してご意見があれば自由に記入してください。

- ・全戸配布は、大変です。

- ・自治会役員組長による各家庭配布は役員に負担になっていると感じる会長組長により配布時期が遅いところもある

- ・自治会の回覧板自体の存在意義が疑問回覧戸数少ない上に見ない回さないの問題多い。ホームページ、LINE、SNS媒体に全て切替えるべきスマホやその他機器を使えない高齢者等はしょうが無い事

- ・自治会負担を極力減らしてほしい。毎月の広報やまきたも含めて電子媒体で構わない。また、選挙公報も投票日前日に配布されている。公職選挙法の規定ギリギリの期限に間に合っているからいいわけではない。期日前投票が多い現状を真摯に受け止め、新聞折り込みに切り替えるべき。

- ・母が自治会の係で配っていたことがありました。月に2回。母は働いているので他の方の手も借りながらも配っていました。朝に配ることもあれば仕事が繁忙期の時には夜になってからなど。母は60代でしたが、こんだけ高齢化が進んでいると母は地域の中では若い方に部類されます。が、私たち家族からしたら心配でしかありませんでした。我が家は全員働いているので母を毎回手伝えることは難しかったですし、内容も似たり寄ったりなのかな？と。電子版が出来て私はホッとしましたが、楽しみにしている高齢者からしたら電子版は難しいのですかね。

- ・回覧板を飛ばされてしまう(順番通りに回してもらえない)時がある。自治会費を支払っているのに、見られるときと見られない時がある。掲示板に貼るか、すべて電子にしてもらいたい。

- ・過渡期にあり難いと思うが、配付されても読まない人が増えているし、ネットで読むのが便利だと感じる世代も多い。SNSやYouTubeなどへの誘導もしやすく内容にも幅が出るので、電子版への切り替えを念頭において、まずは併用から進めて欲しい。

- ・常日頃から自治会役員の働きには感謝しています。広報やまきたは、おしらせ版を含めて町の動きを知る上でかけがえがないものなので、皆さんのご協力で出来るだけ今後も続けて欲しいと願っています。

- ・町民カレンダーは、立派すぎてコストの掛けすぎ。また、カレンダーそのものも必要性を感じない。ごみの分別内容のお知らせもHPで十分、或は変化有った時、簡単はもので済ませる。広報山北も、お金掛けすぎで、カラーは必要性ない。全体的に、電子化すべき。高齢者でも丁寧に説明すれば出来ます。

- ・自治会の負担もさることながら、紙による発行では経費が係ること、資源の節約に繋がらないことから、スマートフォン等による閲覧を進められたい。そうすることで、機器さえあれば、いつでも閲覧することが出来るようになる。

- ・自治会で配るのではなく、委託した業者が配布してくれるのであれば現状のままでありなのではないかと

- ・毎月あれだけの内容をお作りいただきありがとうございます。人口が減っていく、人が亡くなっていく社会で、この先を生きていく人たち全てに未来を信じられるような、そして町民の連帯感を感じられるような町政と情報発信を望みます。

- ・印刷代や紙の使用量などを考えると全戸に配布する必要はないと思います。欲しい人が小田原百貨や役場などでもらい、SNSで見て済む人はそれで十分です。組長が配って歩くのも負担でした。

・アンケートの趣旨が、「自治会の負担が大きくなっていること」とありますが、配布回数が増えているわけではないので、負担が大きくなっている要因は別にあるのではないのでしょうか。例 1) 募金などの集金、2) 自然環境整備、3) 自治会未加入者対応 など

・配布物は手数を考えると廃止が良いと思います。

・回覧配布回数を1回としましたが、必要な場合があるかと思います。その時は2回の配布もやむを得ないと思います。

・自治会行事や自治会加入者が減っている中で、負担が大きいとの意見は単に配布が面倒なのではないか。自治会では、役員に手当が出ているのだから、仕分けなどの負担はやむを得ないのではないか。

・高齢者世帯が多く全てをSNSに切り替えるのは反対です。スマホやPCの利用も個人差があると思います。新聞をとっている世帯は新聞店にお願いして広報を配布したらどうでしょうか。その他希望する世帯のみポスティングにしたらいいのではないのでしょうか。町内の店舗に広報を置くのも賛成です。自分が組長になった時、同組でも配布に苦慮する家もあり負担に感じました。自治会に入らない人も多くなっている中、自治会に依頼し続けるは公平ではない気がします。

・自治会自体、衰退している状態なので、自治会を解散又は見直して、各役員の負担を無くす事を町は考えるべき。今まで通りにしてたら未来は無い。

・いつも見ては捨てている。年寄りしか収集していないと思う。回覧も、すでに過ぎてしまってから訃報の回覧が届いたりして不快に感じることもある。昔みたいに1日中誰かが家に居る家庭は年寄りの家庭だけで、どうしても回覧板に気づくのも朝と夜帰宅し時間であり、無意味。勿体ないことに税金を使わなくていいと思う。

・ホームページやSNSでの情報発信にしても、パソコンやスマホを持参していない世帯については、どう対応すれば良いのか。昨年度、組長で配付したが、月によっては、配付物が多くて仕分けするのが大変。回覧で十分でないかと思う配付物が有った。回覧物にしても、やたら多いと感じた。

・高齢者が多くホームページやSNSを使えない方が多いのではないのでしょうか。

・情報を町が町民向けに発信する内容は最低限で良い必要な人が自分で探すのが基本

・自治会長⇒組長⇒各家庭となっているが、遅いとは発行から1週間を過ぎることがあり申し込みの必要なものは、期日に余裕がなくなることがある。自治会の問題かもしれないが、解決するすべはないだろうか。

・LINEやメルマガでプッシュ発信して欲しい。

・時代と経費削減を考慮すると、ホームページ、SNSに情報発信を切り替えてと思いますが、高齢化で回覧板などで安否確認、コミュニケーションにも繋がります。個人的には完全移行は無しでお願いしたいです。

・今回のアンケートを通じてマチイロアプリを知ることができました。また、今回を機に山北町公式Lineも登録しました。人口分布から急激な電子化は厳しいと思いますが、電子化を進めつつ、今回のような全員宛のアンケートを定期的に行って頂ければよろしいかと思います。集計は大変かと思いますが、頑張ってください。

・有料広告を拡充して広報の費用軽減に充てた方がいいと思います。

・自治会長、組長の負担軽減を考えると配布物は少ない方がいい。ほとんどの方が携帯を所持している時代、近い将来に向けてsnsに誘導していったほうが良い。

・配布物や回覧は月1回が良いのではないかと思います。本当は時代もあり紙削減にも繋がる為電子媒体が希望ですが全ての町民が対応できるわけではなくまた紙のほうが見やすいという意見もありそうです。

・自治会負担軽減だけでなく、自治会に加入していない町民へのサービス向上も考慮する必要があります。そこで、自治会経由の配達方式の見直し変更を進言します。町→各戸への直接送付の導入について、既に実施している自治体もあると聞きます。他自治体を参考にして、山北町も検討してみてもどうでしょうか。

・そもそも広報とお知らせ版はどのような基準で棲み分けているのでしょうか？町民からすると、必要な情報が必要なタイミングで必要な人に届いていれば配布媒体や回数は特に問題ないと思います。また、自治体の負担軽減と、掲載内容の見直し・ページ数の削減は別問題なので現状解決したい課題を整理した後アンケートをした方がよかったと思います。ところで、このアンケート調査の方法だと、おそらく電子媒体でも問題ない人の回答に偏ると思います。（紙媒体でのアンケートは募っていませんよね？）紙媒体でしか情報を入手できない人からの声も広く拾った方がよいのでは？

・回覧板もそうですが、全てLINEやホームページでのデジタル観覧にして欲しいです。坂も多いこの町で、自治会長さんが各家をまわって配布するのは本当に大変です。お年寄り、小さい子供がいる世帯、またこの暑い時期などは特に大変でとても苦痛です。紙ベースのものは希望者のみの配布にして、あとはデジタル版を利用できたらと思います。

・組長や自治会長の負担が大きく、自治会を辞める人がどんどん増えそうに感じます。

・ホームページやSNS等を見ることの出来ない人もいますので、緊急性のあるもの等は全戸配布や回覧とするが、それ以外はお知らせ版に簡潔に載せて、関心がある人はホームページで見る様にしたら良いのではないかと思います。

・身近な情報が少ない、必要な情報は既に他からで知る。

・町からの情報がきちんと各家庭に伝わるためには現行のままが良いと考えるが、間に入る自治会長、組長の負担軽減を図るため、将来的には役場と各家庭をメール等で結ぶシステムの構築が望まれる。

・自治会に高齢者が多いためホームページやSNSが見られない

・個人的には連絡員さんより配布してもらっている現状ですが、各地区毎に配布されるスピードが違うので早く知りたい情報が間に合わない場合もあるので、ホームページ等で次回の内容のお知らせ等を告知する。

・他の自治体での先進事例や考え方(配布方法や活用の仕方を含む)についてご教示いただきたい。

・今回、配布物・回覧物が見直され、負担を軽減するための施策が行われた場合、各自治会の手当に影響が出るのでしょうか？当自治会では役職者(自治会長・副自治会長・会計・組長等)に対し、手当は出していません。現在、町からの手当で各役職者に自治会活動に協力しているのが実態です。負担を軽減し、手当を減らされた場合は、自治会活動の衰退にもなりかねませんのでくれぐれも考慮願います。

・広報作成は大変と思いますが「町からののお知らせは簡潔に」「旬を感じ興味の持てる記事」「連合広報に無い様なものが希望です。」

・いずれはHP、SNSになっていくように考える。